

校報 あずまね

文責：紫波町立紫波第三中学校 校長 角谷 隆章

2025 年 12 月 23 日 (火)

～伝え合い 響き合い 高め合う～

紫波町立紫波第三中学校 学校だより No.10

【2 学期終了！！ ～あいがとうございました～】

本日終業式が行われ、2 学期が終了しました。大きなケガや事故等はなく、総じて無事に今日を迎えられたことはとても喜ばしいことです。文化祭をはじめとするさまざまな行事、対外的な大会や発表会等で大きな成果を収めてきた生徒のみなさんに心からの拍手をおくります。また、普段の学校生活では授業はもちろんのこと、集団生活を通して、多くを学び、大きく成長しました。学校教育にご理解・ご支援をいただいた保護者や地域の皆様方に心から感謝申し上げますとともに、これからも本校の生徒たちをあたたく見守っていただくよう、お願い申し上げます。

2学期終業式 校長式辞

今日で 2 学期が終わります。大きなケガや事故等がなく無事に今日を迎えられて、私は本当によかったと思っています。2 学期、世間をにぎわしていたのはクマの出没です。盛岡市のど真ん中にも出るくらいですから、今やどこに出てもおかしくありません。充分に気をつけて過ごすとともに、万が一出会ってしまったら、クマを刺激しないようになるべく慌てずに行動し、命を守るようにしてほしいと思います。

さて、2 学期の始業式で私は、2 学期のゴールは今日12月23日ということで、みなさんにこの日をどんな形で迎えたいと思っていますか？ と問いかけました。夏から秋、そして冬へと季節は移りました。私はあっという間にこの日を迎えたと感じていますが、みなさんはどうでしょうか？ そして、“今の自分”は“始業式のときに思い浮かべた自分”と比べてどうですか？ 少し時間をとるので振り返ってみて下さい。

思い浮かべた通りの人、それ以上だった人、それ以下だった人……、いろいろだと思いますが、大事なのは“これからどうするか”です。人生100年時代と言われています。みなさんの人生はまだまだこれからずっと続きます。その人生には節目がいくつもあります。学校生活では「1 学期、2 学期、3 学期」や「入学・卒業」があります。これが小学校、中学校、高校、大学まで続く人もいます。その後は大きな節目とすれば、就職、結婚、出産、子育て、退職……などなどがあるでしょうか。例えば、就職してからも仕事の節目があり、決断をして離職という節目をもつ人も出てきます。要するに人生は、小さな節目、大きな節目の連続なのです。だから、充実した人生を送るためには、節目を迎えた時点で、どうだったのかを振り返り、次に生かしていくことが大事なのです。

2学期のゴールは今日ですが、すべての人にとって人生のゴールは亡くなる時です。その時まで、どんな節目を繰り返していくのか。私も先生方も道半ば。その道を歩んでいる最中です。「うまくいったと感じても気を抜きすぎず、うまくいかなかったら、どうするかを考えてやってみる」。この繰り返しが積み重なり、人生のゴールを迎えたとき、何を感じるか。それはその人にしかわからないことです。

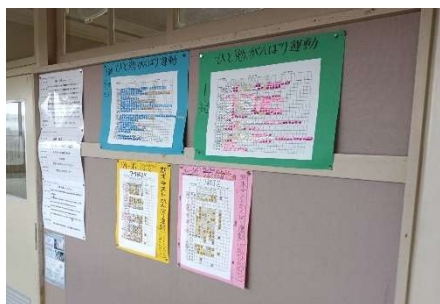
私は、節目を振り返り、次につなげるために大事なポイントは2つあると思っています。一つは「自立力」です。これは、自分で考えて自分でやろうという意思と行動力のことです。もう一つは「コミュニケーション力」です。人は一人では生きていけません。多くの人と関わる中で、謙虚に耳を傾けられるか、協力し合うことができるか、ということです。

明日から冬休みに入ります。3年生は高校受験が佳境に入ります。体調には充分留意し、目標達成のために頑張ってください。1, 2年生のみなさんは、今日の話を参考に、“冬休みの始まりと終わり＝節目”をどう迎えるのか、よく考えて行動してほしいと思います。16日間の冬休みが充実したものになることを願い、2学期終業式のあいさつにします。

【日常の校舎…… 廊下を歩くと……】



1階職員室前廊下には今年度の活躍を示す数々の写真、賞状、作品が👉



1年生は家庭学習の取組を掲示



生徒会スローガン&文化祭総括



図書室前。多数の書籍を紹介

保護者の皆様にはお忙しい中、期末面談へお越しいただき、誠にありがとうございました。授業で取り組んだ生徒の作品もご覧になられたと思います。力作ぞろいでしたよね。学校の普段の様子は生徒の活動そのものだけではなく、このようなところからも感じ取ることができます。本校はおかげさまで、総じて充実した学校生活を送ることができているようです。さて、今号をもちまして、今年の校報「あずまね」は最終号となります。皆様、どうぞよいお年をお迎えください。